

佳作

祖父と同じ舞台で

青森県藤崎町立明德中学校

2年 久保田 唯愛

私は青森県藤崎町に住んでいます。藤崎町は田んぼとりんごの木に囲まれている小さな町です。そんな私の将来の夢は海上保安官になることです。藤崎町に海はありません。近くても青森市まで行かないと海を目にできません。海がない町に住んでいる私が海上保安官になりたいと思ったのには大きな理由があります。

それは、私の大好きな祖父が漁師をしているからです。私の祖父は青森県大間町に住んでいます。大間町といったらマグロ。私の祖父もマグロ漁師です。私の祖父の船は美吉丸といって周りの船と比べると小さい船です。私は船の名前の由来を知りたくて祖父に小さい頃、こう言った記憶があります。

「じじ、なんで船の名前は美吉丸なの？」

と。質問してみると祖父は私の方を見てこう言いました。

「海の神様は女の神様で、船に名前を付ける時は女性の名前から取って船に付けていたんだよ。美吉丸の吉は、じじのお母さんの名前。そっからできたのが美吉丸でじじが今乗っている船だよ。」

と、教えてくれました。私は船の名前を決めるだけなのにこんなにたくさんの意味が込められていて、すごいなと思いました。

この話を小さい頃聞いてから、海の神様や船、海の仕事などを調べるようになりました。

そうしていつの日か私は大好きな祖父と同じ、「海」という大きな舞台で仕事ができればいいなと思い、海上保安官になりたいな！ と強く思うようになりました。

最近は、海上保安官になるためにはどうしたらいいのか、また海上保安官になりたい理由を考えたり調べたりしています。

海上保安官になるためにはまず、海上保安大学校か海上保安学校に入学し、卒業することが決められています。そして、海のスペシャリストといわれる強い海上保安官に必要なことは、人並み以上の体力と気力、そして海の警察官という自覚を持ち、正義感や責任感があることが大切だといわれています。

ですが、私は運動が苦手です。運動の中でも、長距離走と水泳が苦手です。水泳はやる場所が限られていて練習するのは難しいですが、長距離走ならできるので、部活終わりに1～2キロ走るようにして、今から少しずつ体力をつけ

ていけるように頑張っています。そして、何より海上保安官に必要な正義感や責任感がある人に私は今からなれるように、学級では学級会長、生徒会では副議長という役職に就いていて、後期からは議長になりたいと考えています。副議長から議長になるには責任感がないとやっていけないと思っています。だから私はこのような機会をとおして、正義感や責任感がある人になれるように努力していきたいです。

そして、小さい頃のように海が大好きなんだという気持ちを忘れず、日本の海の交通安全を守り、困っている人たちを助けられる“カッコイイ”海上保安官になりたいです。

また、私の夢を応援してくれている家族に、祖父と同じ「海」という大きな舞台で活躍できたことを報告できるようにしたいです。

最後に海上保安官になった私に今の私から伝えたいことがあります。海上保安官になる前の私は勉強も運動もできず、一つも良いところがありません。ですが、海への興味だけは人一倍あると思っています。また、少しでも運動ができていればいいなと思いランニングもしています。海上保安官になった私はどこでどう過ごしているのか今の私にはまったく想像できませんが、きっと大好きなじじと同じ「海」という舞台で活躍できたことを嬉しく、誇りに思っているはずです。今の私は何事にも挑戦し最後まで諦めずに頑張っています。海上保安官になった私も今の私と同じようにつらい訓練でも最後まで諦めずに取り組んでいてほしいと思います。

海上保安官になったら胸を張って、私を応援してくれた祖父に、
「ありがとう。」
と伝えられるようにこれから頑張っていきます。